

# 在校生の素顔



吉川 良

2016年度 学部3年

2001年に受洗。都内の私立大を卒業後、2016年4月、学部3年に編入学。

**Q** 東神大で学ぶことを決意した理由を教えてください。  
**A** 受洗してから献身を考えることはありましたが、確かな思いになったのは、在学していたキリスト教主義の大学においてでした。主日礼拝に加えて、毎日の礼拝や講義を通し、聖書を学び、祈る時間が多く与えられました。その中でイエス様の十字架の救いがいかに尊いものであるか確信し、身をもって感謝をささげたいと思い、東神大への入学を決意しました。

**Q** 東神大の面白さ、魅力は何ですか？  
**A** 東神大では幅広い教派・年齢の学生が共に学んでいます。様々な道を辿って召命を与えられた方々の証しを聞けるのは大きな魅力です。また、教職員との距離が近いことも特徴で、学生の名前を覚えてくださり、質問や相談にいつでも親身に対応して下さいます。そして、奨学金などの支援制度が充実していることも魅力の1つであり、それは多くの教会の助けによって成り立っています。



有田いづみ

2016年度 博士課程前期課程1年  
組織神学専攻

社会福祉学科を卒業後、主に招かれ教会幼稚園にて勤務。退職、震災ボランティア、復職の中で、献身の召しを受ける。

**Q** 組織神学専攻を選んだ理由を教えてください。  
**A** 聖書が伝え、教会で私たちが信じ告白している福音を、立体的に知りたかったからです。組織神学の分野では、聖書の証言に基づいたキリスト教信仰が、体系立てて学べます。つまり、初代教会から現代に至るまでずっと守られてきた教会の信仰の内容、キリスト者としての生き方、キリストの福音と今日の社会を結ぶ弁証学、それぞれと、また相互の関連性を学べるので専攻しました。

**Q** 神学の面白さ、魅力は何ですか？  
**A** 神様はどのようなお方か、救い、恵み、約束、自由な選び、計らい、愛等、何となく知っていたこと、わかったつもりでいたことを深く知ることができること。また、学びを通し、キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さを知らされ、己を何度も打ち砕かれ、委ねさせて頂けること。そして、神様は学んで理解できる対象でないことを知り、自分が被造物である恵み、神の憐れみ深さを知ることです。



上田充香子

2016年度 学部4年

2012年信仰告白。高校卒業後、京都の大学に通うが、召命を受け2014年大学を退学し、学部2年に編入学。

**Q** 東神大で学ぶことを決意した理由を教えてください。  
**A** 信仰告白をした時は牧師になりたいなどこれっぽっちも思っていませんでした。しかし、様々な出会いを通して主が導いてくださり、牧師という献身の仕方が示されているのかもしれないと思わされるようになりました。その思いを牧師に相談をすると、「東神大に行きなさい」と勧められ、神様に人に仕えるために東神大で学ばせていただきたいと考えました。

**Q** 東神大の面白さ、魅力は何ですか？  
**A** 本当に色々な人が集まっているというところです。年代、住んでいた地域、背景、本当に色々な仕方でもって神様がそれぞれを召し出して今ここに集められているんだということがよく分かります。また、召命共同体として、共に祈り合い、支え合い、教会生活や日頃の授業、夏期伝道実習等、様々な時間を通して神様の愛の深さを共有し、分かち合えるところです。



平向倫明

2016年度 博士課程前期課程1年  
組織神学専攻

献身を決心し56歳で早期定年退職し、学部3年に編入学。(献身への反対者が皆無だったことに感謝している。)

**Q** 組織神学専攻を選んだ理由を教えてください。  
**A** 複雑に絡み合った毛糸を解いていくことが私は好きです。そのような魅力を組織神学にも感じたので専攻しました。理解力・発想力・表現(行動)力が求められますが、それだから楽しいと思えます。丁度、台詞をもらった役者が演技に取組む手順にも似ています。あの偉大な神学者カール・バルトも、若い頃、周りの人から俳優になるのではと思われていたのだとか。

**Q** 神学の面白さ、魅力は何ですか？  
**A** 神学は面白いです。何故なら聖書に書かれていることの意味が段々深められていくからです。東神大に来て、「聖書に書かれてあることの意味が分かるというのは凄いことなのだ」と実感しています。聖書の中に新しい宝を発見出来た時は、主のご臨在に気付かされ、ひれ伏す者とされ、感謝と喜びに満たされます。この喜びを誰かに伝えたいと説教が生まれます。神学の魅力です。

# 卒業生のはたらき



松島保真 牧師 日本基督教団 小松教会  
(まつしま ほさな)

国際基督教大学卒業後、海外ボランティア等を経て、東京神学大学学部3年に編入、2006年に大学院を修了、日本基督教団小松教会に就任。2008年受按。



**Q**：現在のお働きを教えてください。  
**A**：教会での日常的な伝道・牧会に加え、関連幼稚園・こども園やキリスト教学校での説教奉仕等があります。また中部教区書記、石川地区での「聖書セミナー」の担当、北陸で毎年夏に行う「中高生キャンプ」スタッフ等の奉仕もしています。

**Q**：東神大の学びを振り返っていかがですか？  
**A**：一言で言うと、とても刺激的かつ

楽しかったです。個性豊かな教授陣にキリスト教神学の面白さと奥深さを教えられ、時には信仰を揺さぶられるような経験もしました。また卒業しても共に祈り合い、励まし合える同労者に出会えたことは何より大きな財産です。そして、2回の夏期伝道実習を通して、御言葉を宣べ伝える喜びを味わうとともに、神学は教会に仕える学問であることを実感しました。

森島 豊 教務教師 青山学院大学 大学宗教主任・総合文化政策学部准教授  
(もりしま ゆたか)



2000年に東京神学大学学部3年に編入。2004年に大学院修了、日本基督教団長崎平和記念教会に赴任。2009年受按。2011年より青山学院大学に勤務。

**Q**：現在のお働きを教えてください。  
**A**：聖書の福音を肌で感じるほど分かりやすく心に語りかけています。招かれればどこにでも行きます。普段は主に大学での礼拝説教、授業で奉仕し、他大学・小・中・高や教会に招かれて説教奉仕をする時もあります。一言でかっこよく言えば、福音伝道と神学研究に基づいて人格教育の業に仕えています(´ω´)

**Q**：東神大の学びを振り返っていかがですか？  
**A**：今まで学んだ場所の中で1番楽しかった学び舎です。授業だけでなく、避難訓練や運動会等、全てが面白かったです。優れた先生の下で少人数の学生がディスカッションしながら思索できる大学は、もしかすると東神大以外に日本にないかもしれませんね。本当ですよ。「来て、見なさい(ヨハネ1:46)」(「+」キラーン



本庄侑子 牧師 日本基督教団 大阪教会  
(ほんじょう ゆうこ)

バイオラ大学心理学部卒業。2010年に東京神学大学学部3年に編入学、2014年に大学院修了、日本基督教団大阪教会に赴任。2016年、受按。



**Q**：現在のお働きを教えてください。  
**A**：聖日と木曜の礼拝説教と、礼拝に集えない方々への訪問聖餐を中心に、祈祷会の聖書黙想、新来者対応や求道者会の整備、青年会の指導、事務作業等を担っています。近隣に急増する子育て世代への伝道のため、英語で聖書のお話をすることもあります。また、大阪YMCAで、不登校経験者が集う高校の宗教の授業や、職員向けの聖書研究を担当しています。

**Q**：東神大の学びを振り返っていかがですか？  
**A**：学内礼拝で御言葉に打たれる経験を重ね、説教に命をかける重大さを身にしみて教えられました。原典に聴き続けること、教会史的な思考等、一朝一夕では身につかない学びばかりでしたが、一生学び続けるための道具と、良き師や仲間との出会いを与えられました。学生会活動や寮生活を通して、御言葉が人格や生活に血肉化させられた経験も大きな財産です。